

ノイエスだより

ノイエス朝日
(朝日印刷工業株式会社)群馬県前橋市元総社町73-5
TEL 027-255-3434
FAX 027-255-3435
<https://www.neues-asahi.jp>Communication House
NEUES
ASAHI

今年はずっと味噌を作りました。何年か続けて作っているうちに上手になり、数年前に調子に乗ってたくさん作りすぎて年を越してどんぶり色が濃くなって飽きてしまったこともあり、今回は仕上げが一キロにしました。私はツブツブが味噌汁の最後に残るような味噌が好きで、少し大豆の粒が残るように作ります。

味噌汁といえば、日本から持ってきた材料で海外で味噌汁を作っても全くおいしくないで、水が違うからかと前橋の水を使ったりしたのですが、やはりあまり美味しくなかったことを思い出しました。他に足りなかった要素を考えると、生活環境の香りが違うのかと思いました。嗅覚が慣れてしまうことを嗅覚順応というようです。私はこの嗅覚順応は慣れた香りが無くなってしまっているのではなく、感じないけれど脳に届いていて、その時に感じる味覚や他の印象とも深く関係しているのだと思うのです(あくまでも個人の意見です)。子どもの頃に行った友達の家匂いと食べたお菓子、パリの道端で食べたワッフル、伊香保の階段で食べた蒟蒻玉……。食事や香りが印象的な過去の場面といつもセットで思い出されるのは食いしん坊な私だからでしょうか。後で同じものを食べても記憶と違うことはよくあります。

そんなことを考えていると、昨年ドイツのウルム博物館で開催された「フオーロー・ユア・ノーズ」展の記事が目に入ってきました。煙や花畑や香り玉、食卓など、作品に描かれたものの香りを再現することで、作品により深く入り込んでもらうことを狙って携帯用ディフューザーを使って絵画作品と一緒に香りも提供する展覧会だったようです。米ブラウン大学の神経科学者で、香りの心理学を専門とするレイチエル・ハーツ氏によると、「嗅覚は記憶や感情学習をつかさどる脳の部位と直接結び付いている唯一の感覚だ」といいます。

香りによってふと過去の記憶が生き生きと蘇ってくるのは、食いしん坊なことだけが原因ではないようです。そういえば、ノイエスの展示スペースも、展覧会によって違う香りが漂っています。木彫なら木の香り、油彩なら絵の具の香りはもちろんですが、無臭と思われる作品にも作家独自の香りが感じられて、美術館で保管展示されている芸術作品とは違う気がします。海外で見て感動した作品が、来日展示されて見直す少し違って見えるのは、見る環境や自分の年齢などの状況の違いもあるかもしれないですが、その場の香りも関係するのかもしれない。作品と向き合っていると記憶するという行為は、目で見て知識と照らし合わせて理解するとい

(橋本)

ノイエス朝日〈展覧会〉のご案内

※ご来場の際は、マスク着用と手指の消毒を引き続きお願いします。

ユアンクレイグ 作陶展

〈企画〉

Euan Craig Ceramics Exhibition

会期 二〇二三年一月二十八日(土)～二月五日(日)
午前十時～午後五時

二〇二三年の初窯作品を中心に日常使える優しさに溢れた作品数百点を展示販売します。水上の地で作陶に励むユアン・クレイグさんの作品を手にとってみてください。

ノイエスふる本市

〈企画〉

会期 二月十一日(土)～十九日(日)
午前十時～午後五時

宗教・神書・哲学・文学・語学・歴史・地誌・経済・社会学・医学・美術など専門書を中心に約四〇〇冊を用意しています。

本は手に取ってページを捲りながら活字と向き合い一行一行を熟読し、行間から著者の息づかいを感じ、楽しんでください。



酒井重良展

〈企画〉

抒情のエスキース ―これらは詩になりうるのだろうか

会期 二月二十五日(土)～三月五日(日)
午前十時～午後五時(最終日は午後四時)

ノイエス朝日での三回目の個展です。楢円会のメンバーでもある酒井重良氏は二〇一八年に高崎シティギャラリーにおいて「酒井重良作品集一九六三～二〇一七」の刊行とともに展覧会を開催しました。その後も意欲的にいろいろな素材を使い、素材の面白さを駆使し、あらゆる手法を発見し作品づくりに取り組んできました。それは時には時間という自然の力を借りて朽ちた作品の中に新たな「美」を見つけ出そうとし作品化してきています。自作の方向性というものがあつたら、それに抵抗して壊していく勇氣と自由に創作できるといのは誰もが持っているのではないと思います。

酒井重良氏が、これからあらゆる素材や手法を使い、どのような作品を生み出していくのか楽しみでもあり、その作品の中から「詩」を読みとることが出来たら、さらに酒井重良という作家の背骨の部分がいくらか理解できるのではないかと思います。

ノイエス朝日 三月の展覧会案内

三月十一日(土)～三月十九日(日)
住谷夢幻展
〈企画〉

三月二十五日(土)～四月二日(日)
岩井啓二個展
〈企画〉

*四月中旬は、ノイエス朝日は足場を組んで電気工事があ

るため休廊しています。
四月二十一日(金)～二十七日(木)
第二十六回 樺澤健治作陶展

県内のアート散策

いま群馬県立近代美術館で「アートのための場所づくり―一九七〇年代から九〇年代の群馬におけるアトスペース」という展覧会が開催されています。煥乎堂ギャラリー、ぐんまアートセンター、コンセプトスペース、アートハウス、北関東造形美術館で開催された多くの展覧会資料や当時活躍していた作家たちの作品が展示されています。

最近、Z世代といわれる若者の間では「昭和回帰」と思われるような音楽への関心や古い家屋をリノベーション（修復）して生活を楽しむような新しいブームがおきています。

コロナ禍の影響があるようですが、昭和の音楽に関しては情報収集の変化もあり海外にまで広がりをみせています。

レトロブームにみる若者の価値観は、音楽や経済にとどまらずアート環境にも感じられるものがあり、テレビやインターネットで流出する多くの情報から選択して美術館に足を運ぶ若い世代の動きは興味深いものです。それは洗練されたファッション、そして飲食にいたるまで多くの変化が感じられます。環境や政治などの社会問題に関心をもつようになってきているZ世代は、ひと昔前の世代とは大きく違ってきているようです。多くの情報の中から選択できる「力」そして「価値観」の基準がしっかりと構築されているのではないのでしょうか。

思い出に浸るのも良いことです。しかし、当時の作家たちが自己を見つめ、作品として問題提起してきたものを目の前にした時、そこに普遍的に変わらない人間の生きざまと新しさを発見することでしょう。

県立美術館での五カ所のアトスペースを作りあげてきた多くの作家そして関係してきた人々と、それを支えてきた美術愛好家の顔が見えてきます。展示された作家のなかにはすでに逝去されている方も多く、作家の笑い顔を思い浮かべ、声を聞くこともあると思います。

現在でも県内の多くのアトスペースで、その作家たちの意思が継承され次世代にバトンタッチがされればと願うばかりです。

四月九日（日）まで開催（休館日：毎週月曜日）

開館時間：午前九時三十分～午後五時

観覧料：一般七〇〇円・大高生三五〇円

中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方とその介護者一名は無料

*詳細は、群馬県立近代美術館

☎ 027・346・5560

今、ディップスで作れるおすすめ商品

Photo+ Message Cube

写真とメッセージの思い出をキュートな立方体に入れて、お気に入りの写真とメッセージを特別なメッセージキューブの想い出を手のひらサイズで

オーダーメイド商品 **3,500円**

4cm角の真四角アクリルキューブ (写真はほぼ実物大です)

背面に写真が1枚、正方形で入ります。



前面・底面・天面のいずれかに、透明インクのメッセージやロゴが入れられます。



内容に合わせて箱のデザインも変わります！ (ご提供イメージで作るか提案イメージ1案まで)

記念品・プレゼント・旅の思い出... 並べて飾ってもかわいい！

ご希望の写真をメールするか、ご来店時にUSBなどのメディアでご持参ください。一緒に印刷するメッセージがありましたらお知らせください。

ご希望でしたら後日、印刷イメージ画像をメールや店頭にてご確認いただけます。

1週間ほどで仕上がります！

ご注文方法
How to order

DiPS.A 元総社町

営業日 月～金曜日……………9:00～19:00
第2・4土曜日……9:00～17:00
定休日 第1・3・5土曜日、日曜、祝祭日
※土曜日はお渡しやご相談のみで製造業務は行っていません
〒371-0846 群馬県前橋市元総社町70-1
TEL.027-254-1212 FAX.027-254-1227



DiPS.A まちなか店

営業日 水・木・金・土曜日…10:00～17:00
定休日 日・月・火曜日、祝祭日
※お車の方は恐れ入りますが、近隣の駐車場をご利用ください
〒371-0022 群馬県前橋市千代田町2-10-1
CHOCOLATE 1F
TEL.027-212-4075 FAX.027-212-4076

